



2026年 8月15日
第21号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



終戦から81年



1945年8月15日の終戦の日から81年が経過しました。世界では未だに戦争・紛争が続いており、多くの市民・労働者の犠牲者が出ています。

高市首相は、全国戦没者追悼式に参列し、「戦争の惨禍を、二度と繰り返さない。この決然たる誓いを、世代を超えて継承し、貫いてまいります。今を生きる世代も、未来を生きる世代も、希望を持てる日本を、安全で安心して暮らせる社会を、創り上げてまいります。」と式辞を述べました。しかし、昨年石破前首相が13年ぶりに復活させた「反省」や「不戦に対する誓い」という言葉は使いませんでした。本当に安全で安心して暮らせる社会を創り上げているのでしょうか。今年4月には武器輸出を規制する防衛装備移転三原則の運用方針を改訂し、殺傷能力のある武器の輸出を解禁、原則可能としました。8月13日には「日本国旗損壊罪」を施行するなど、徐々に、そして着実に戦争する国へとつくり変えています。「いつの間にか戦争になっていた」とならないためにも、私たち市民・労働者がチェックしていかななくてはなりません。

私たち市民・労働者の意識と運動が薄れてしまえば、直ぐにでも戦争へと突き進みます。平和を守ってきたのは政治家ではありません。市民・労働者の運動が戦争へと舵を切ろうとする政治家を食い止めて、憲法9条を守り続けてきたからです。

今後も「戦後」であり続けるために19行動などに参加して声をあげ続けよう！